

# 浜松家守構想 「浜松ヒューマンパーク」 の実現に向けて

## ◆趣旨

浜松家守構想は、商業施設の撤退や来街者の減少により増加している中心市街地の空き不動産や、道路・広場等の遊休化した公共空間を活用し、活力があり、求心力のある人を呼び込み、賑わいのある空間にリノベーションする。そして、郊外と連携しつつ、新たな産業を創出し、浜松の中心市街地を「働きながら暮らす、職住遊近接」「歩いて楽しいまち」の観点から、新しいライフスタイルを創造するまちづくりを行うものである。

## ◆テーマ 《浜松市中心市街地の役割を踏まえ、現在抱える課題を解決するとともに、50年後の未来を見据え、まちづくりを行う。》

官民の遊休不動産活用  
×  
新たな働き稼ぐ場の創造  
×  
子供が育ち暮らす場の整備  
×  
人々が遊び交流する場の構築  
↓  
新しいライフスタイルを創造する場  
“浜松ヒューマンパーク”

・当市では、輸送用機械、繊維、楽器等を中心に様々な製造業が起り発展してきた。また、豊富な農産物、食材などに恵まれている。  
・しかし、経済・社会動向、工場の国内・国外移転等により産業の空洞化に直面しており、さらに中心市街地は大型商業施設の郊外移転によりにぎわいを無くし、人口が流出傾向にある。  
・したがって、今後は時代の変化に対応し、より生活に密着したジャンルでイノベーションを行っていくことが必要。そこで、郊外の産業、自然等と連携しつつ、「やらまいか精神」(起業精神)を発揮し、中心市街地に①**新たな働き稼ぐ場**、②**子供が育ち暮らす場**、③**人々が遊び交流する場**を整備し、それにより都市型産業を創造していく。  
・目指すものは、中心市街地に点在する空き不動産の再生と、その中身となる働く場、暮らす場、遊ぶ場の整備による新しいライフスタイルの創造である。

## ◆連携のイメージ

### 《製造業》

#### 産業のイノベーションを起こすイノベーターの発掘

ここは浜松の企業の企画系部門が集まる〇〇ラボ。浜松の産業をけん引する企業が集まっている。専門によって考え方や知識はさまざま。同じ場所で働き、意見交換したり、ランチしたり。そうしているうちにアイデアが湧き、ラボ発の企画や新産業が誕生した。



### 《林業》

#### 素材の魅力発信による商品PR・新たなエネルギー供給源の提供

この建物は、天竜材を使用している。ここだけではない。まちなかには、浜松の素材を使用したリノベーションした店舗が増えている。素材の魅力に触れ、林業に携わりたいと考える若者や、自宅の素材として使用したいと考える人の姿もある。  
・まちなかでベレットストーブの使用が増えている。ベレットストーブは木質ペレットを燃料とし、間伐材の利用促進や非化石燃料を用いることで地球温暖化対策にも有効だ。



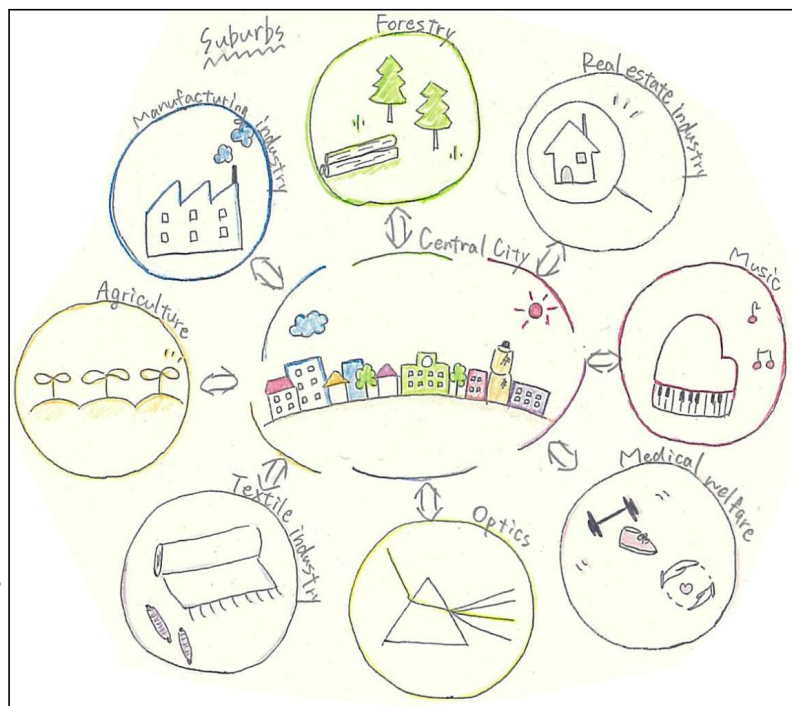
### 《農業》 第3次産業化により稼ぐ農業に転換

この飲食店では、農業を営む店主が自ら生産した食材を調理して提供している。浜松の食材をその食材にあった調理法で楽しむことができ、消費者の満足度は高い。店側も、食材の魅力を伝えることができ、売れ行きの上昇や食材の付加価値化による収入アップに成功している。



### 《繊維業》 素材の魅力を発信し、活用の幅を広げる

この店では遠州織物を中心に扱っている。服をオーダーメイドできるほか、生地の状態でも買うこともでき、人気を集めている。周辺では、生地を制服や内装に採用する店舗も見られ、素材の魅力がさらに広がってきた。



### 《不動産業》 新しい建物の使い方を提案

まちなかのちょっとしたスペースで、人々が話したり、お茶したり、読書したり、仕事したり...そんな光景が多く見られるようになっていく。まちなかの空き床・空きビル・公共空間が新しい使われ方をし、様々な人々が集まり、楽しめるようになった。



### 《音楽》

#### リアルな声を取り入れ新たなアイデアを創出

・このライブスペースは、浜松の楽器ブランドが運営し、演奏時には自社製品の貸し出しも行っている。使用した市民には、楽器についてのアンケートを行い、商品開発の参考にすることができる。試奏や発表の機会を得られ、市民も喜んでいく。  
・公園にカフェと併設のライブスペースができた。カフェで飲み物を買って、ライブを楽しむ人や公園で過ごす人...思い思いの過ごし方が実現する空間になっている。



### 《医療・福祉》

#### 健康まちづくりの推進に向けた仕掛けで新たなニーズを開拓

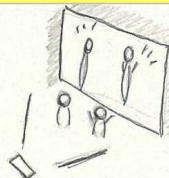
・健康ブームによって、自社の知識を生かしてまちなかの空間を活用したトレーニングメニューを開発した。トレーニングを行う人向けに、ランナーズステーションを設置、また、店舗ではこれに付随した商品を販売し、売れ行きは好調だ。  
・交通弱者である高齢者や子ども、障害者が足を運びやすいよう、まちなかに施設を作った。他施設や団体と拠点が近く、相互に連携し活動の質を高めることができる。



### 《光学》

#### 興味をひく仕掛けで先端技術を身近なものに

このテーマパークは、最先端の光学技術を楽しむ学べる場所。体験コーナーが充実し、子供にも大人気だ。イベントの仕掛けとして使用したいと声がかかるなど活躍の幅が広がり、技術や商品がさらに有名になった。



まちなかと郊外の連携により、まちの魅力が拡がり、多様な使い方が生まれ、市民生活が向上する！